

助成先施設
を訪問しました

あぜがみりんご
保育園

2017 年度に助成をさせていただいた助成先施設の様子をご紹介します。



こちらの園は、生年で組分けしない“異年齢保育”に取り組んでおられます。壁で仕切らず、広い1フロアのまま保たれた保育室には、いくつものコーナーが用意されています。園児は保育士から見守られながらも、自分自身で好きな場所を選んで過ごすのです。こうした保育のスタイルで用いられる什器や備品は、柔軟に配置を変えられるよう、動かせるかどうか重要になってきます。乳児のハイハイに最適な畳のコーナーも、動かせる畳を必要とされていたところ、当財団の助成でフロアマット式の畳を導入されました。これなら、ハイハイする乳児の人数に応じて、畳コーナーを広めに取ったり、減らしたり、フレキシブルに活用できるのだそうです。

ひとつの空間に、テーブルの下でひたすら遊びに没頭する子もいれば、世話役を買って出て動き回る子もいる。それぞれ個別に行動していても、いっぽうでは互いの存在を尊重し合っていて、一体感の感じられる保育園でした。



〔訪問先〕

社会福祉法人畔上記念福祉
会

あぜがみりんご保育園

埼玉県越谷市蒲生寿町 1-28

〔訪問日〕

2019. 10. 31

〔助成事項〕

フロア畳